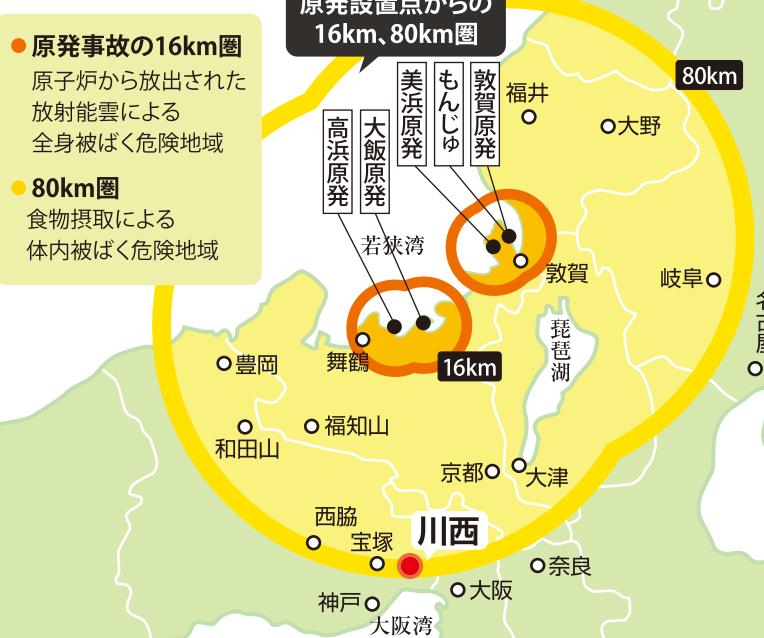


さよなら原発 自然エネルギーでいこう

全国に広がる「反原発」の願い

原発事故への不安はひとつではないと、「反原発」を求める運動が広がっています。

9月16日に東京・明治公園で開催された集会には、6万人もの参加者が集まり、新規原発計画の中止、既存原発の計画的廃止を求めました。



今こそ自然エネルギーへの転換を

太陽光・水力・地熱・風力などの自然エネルギーを活用すれば、現在の電力供給量の約10倍、原発54基の発電能力の約40倍もの電力を生み出すことが可能です。エネルギー政策の転換に向けて、国民的な運動を続けることが必要です。

川西市からも復興支援

日本共産党議員団は、震災発生直後から募金活動に取り組み、「脱原発」を求める署名活動も継続的に実施しています。また、被災地へ赴き、仮設住宅を訪れ、被災者の要求を聞くなど、復旧・復興支援を行っています。

市民の声を議会に届け、全力投球

9月議会



『税金の集め方』は能力に応じて

またもや上場株式軽減税率(20%→10%)が延長され、株式譲渡で1,570万円、配当割で4,735万円、市に入るべき税金が入りませんでした。

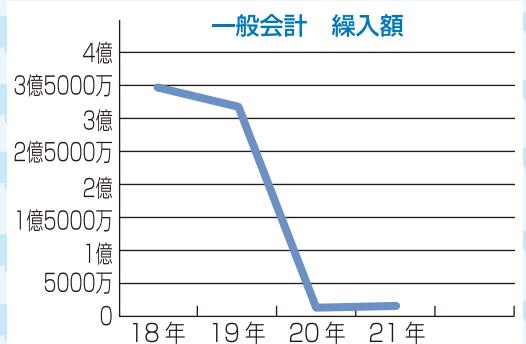
日本共産党議員団は、「税金は応能負担の原則」「真面目にがんばる人が報われる」税金の集め方になるよう国に対して意見を言うよう訴えています。

一般会計から繰り入れ、 いのちと暮らしを守る国保に

市では、4人に一人が国保に加入しそのうち8割が低所得者。「高すぎて払いたくても払えない」というたくさんの声声声。

日本共産党議員団は、一般質問でも取り上げ、一般会計から繰り入れ保険税を軽減するよう粘り強く求め、一部実現。

市は、差し押さえなど無理な収納を強化するのではなく、市民の生活実態に合わせ、いのち、暮らしを守る立場で対応するべきです。



9月議会 議案・意見書に対する各議員の態度

議案	賛成	反対
TPPには参加しないよう意見書の提出を求める請願	住田・森本・北野・黒田 宮坂・北上	秋田・松田・岡・津田・福西・土田 吉富・吉田・大崎・鈴木・平岡 大矢根・江見・宮路・久保・梶田 安田未・多久和・安田忠
原発推進から再生可能な自然エネルギーへの転換を求める国への意見書	住田・森本・北野・黒田 宮坂・北上	秋田・松田・岡・津田・福西・土田 吉富・吉田・大崎・鈴木・平岡 大矢根・江見・宮路・久保・梶田 安田未・多久和・安田忠
兵庫県立高等学校の通学区域見直しに関する意見書 (土田議員は欠席)	住田・森本・北野・黒田・宮坂・北上 秋田・岡・津田・福西・吉富・吉田 大崎・鈴木・平岡・大矢根・江見 梶田・安田未・多久和・安田忠	松田・宮路・久保
川西市税条例等の一部を改正する条例の制定について	宮坂・北上・秋田・松田・岡・津田 福西・土田・吉富・吉田・大崎・鈴木 平岡・大矢根・江見・宮路・久保 梶田・安田未・多久和・安田忠	住田・森本・北野・黒田
平成22年度 川西市国民健康保険事業特別会計決算認定について	秋田・松田・吉富・吉田・大崎・鈴木 平岡・大矢根・江見・宮路・久保 梶田・安田未	住田・森本・北野・黒田 宮坂・北上・岡・津田・福西 土田・多久和・安田忠
平成22年度 後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	宮坂・北上・秋田・松田・岡・津田 福西・土田・吉富・吉田・大崎・鈴木 平岡・大矢根・江見・宮路・久保 梶田・安田未・多久和・安田忠	住田・森本・北野・黒田

※小山議員は議長

敬称略

公立高校の学区拡大は(16学区→5学区) 慎重審議を! 県・市教育委員会に申し入れ・懇談

兵庫県高等学校通学区域検討委員会は、高等学校通学区の変更(素案)を発表。

説明会では、「遠距離、長時間通学が心配」「もっと時間をかけて検討を」と不安と批判の声が上がっています。日本共産党議員団は、拙速に通学区域の見直しの結論を出すことがないよう県・市教育委員会に申し入れを行い懇談しました。すべての生徒に行き届いた教育を保証するよう訴えています。

